



佐賀小学校

『たくましく心豊かな
児童の育成』をめざして

校長 西岡公子

◆はじめに

本校は、学級数9、児童数119人、教職員数18人で、教育目標を、「たくましく心豊かな児童の育成」とし、基礎学力を定着させる(知)、一人ひとりを大切に育てる(徳)、たくましい心と体を育てる(体)取り組みを保護者や地域の方々の協力のもと日々行っています。

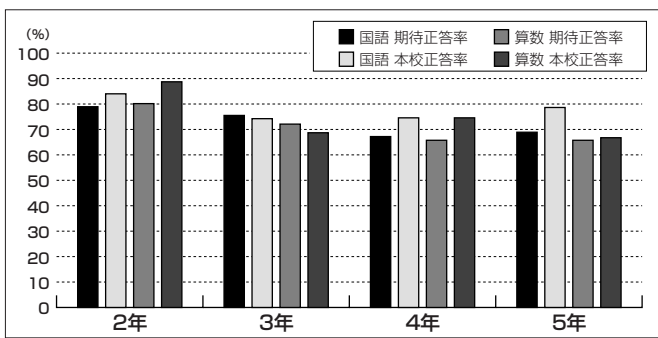


◆佐賀小の教育活動【学力】

「話をよく聞き、自分の考えをしっかり言える子どもをめざして」を研究主題、互いに認め合い、関わり合う授業づくりを通してサブテーマとして、研究・実践を行っています。

左記のグラフ(「標準学力調査」2～5年生で4月実施)で分かるように本校の児童の学力は、ほぼ期待正答率を上回り、ある一定学力はついていくという結果が出ています。

平成24年度 標準学力調査



しかし、観点別の値を見ると「話す・聞く態度」に課題

がみられ、今年度から研究主題を上記のように変え、取り組みを進めています。

●聞く力を向上させるための取り組み

①発表している人の方を見て、聞く(反応しながら)

②興味・関心のわくような発問の工夫

③聞かざるを得ない状況を作る。(途中で話を切ったり、聞き返しをしたりして緊張感を持たせる。)

●話す力を向上させるための取り組み

①思考させる時間の確保(ペア対話・ワークシートの活用)

②音読発表会

③読書タイム(水曜日は読み聞かせ)

④図書室の利用と家庭学習(毎日10分!読書の時間)

⑤読解力の向上(ことばのスキマりの活用)など。

子どもたち一人ひとりに確かな学力をつけるための有効な授業(関わり合つてともに伸びる)を充実させるために、今年度は、人権・道徳の授業研究に力をいれて取り組んでいます。

◆佐賀小の教育活動【仲間づくり】

「互いに認め合いかわり合える仲間づくり」をめざして

本校は、人権教育を中心にすえた教育を行ってきています。6年間を通して、互いを信頼し、学びをともに共感でき、認め合える学習集団、あたたかな目、優しい態度で接することのできる異学年集団をつくることに力を入れて取り組んでいます。

仲間づくりの観点からは、相手を傷つける言葉、いやな思いをさせる言葉を使わない取り組みとして、児童会が言葉に対する宣言文を作成し、日々学校全体、学級で確認し合いながら子どもたち一人ひとりが、楽しい学校生活を送れるように取り組んでいます。

部落問題学習では、地域の関係者の方や保護者の方に協力をしていたりしながら、歴史学習はもとより、子どもたちの生活に活き、活動できることをめざした学習に取り組んでいます。

子どもたち一人ひとりが自分や仲間の大切さに気づき、よさを認めることができるようになり、それがさまざまな

場面で態度や行動に表れるようになってほしいと思います。

◆学校図書館の取り組み

「読書大好きな子どもをめざして」

本年度は、図書館支援員さんが毎日(半日)ついてくれることになりました。古い本を廃棄し、今、読んで欲しい本を工夫して陳列し、月ごとに環境も変え、子どもたちを待っていてくれます。定期的読み聞かせをしたり、教科書に出てきた作者の本の紹介や調べる学習のアドバイスもしてくれたりしています。図書館の来館者が増え、子どもたちが借りた本の月ごとの冊数はなんと4月の2倍以上になりました。子どもたちの読書の芽がどんどん伸びて読書が大好きな子どもが増えてきています。佐賀小図書館を見においでください。

「やろこ」を広げる

図書室へ(6年生児)

◆おわりに

どの子ども「学校が楽しい・学校が大好き」と笑顔で登校できるような学校をめざして取り組んでいます。

伊与喜小学校

『心豊かに学び合い高め合う児童の育成』をめざして

校長 橋田まや

◆はじめに

本校は、三方山や伊与木川といった豊かな自然に恵まれ、保護者や地域の方々も温かく、学校にもとても協力的な地域です。

本年度は、児童数21人、完全複式の3学級編成でスタートしました。

児童は、明るく素直で、休み時間は学年を超えて全校でよく遊びます。また、学習にもまじめに取り組み、行事や作業も労をいとわず、よく協力して活動することができま

す。しかし、自分の考えを表現したり、学習や活動を主体的に行ったりすることにやや弱さを感じられます。

◆学校教育目標

学校教育目標を『心豊かに学び合い高め合う児童の育成』とし、具体的に

- ①めあてを持って学ぶ
 - ②仲間と共に学び、高め合う
 - ③学んだことを生活に生かす
- ととらえ、心豊かに学び合い

高め合いながら、学校という集団の中でその学びや、学ぶ喜びを大切にしたい学校経営をめざします。

◆校内研修の充実と指導力の向上

研究主題を『主体的に学び続ける児童の育成』とし、国語科・算数科を中心とした基礎学力の定着、複式授業での主体的な学びの定着、安心して学習に取り組める学級（学校）、支え合える仲間づくりをめざして、年間30回以上の校内研修と全教員の研究授業を実施して指導力の向上を図っています。

また、複式授業においては、より意欲的・主体的な授業となるよう、「ペア学習」や「とも学び」を取り入れ、自分の考えをもち、表現し伝え合う力・コミュニケーション能力を高めていくための授業を展開しています。

◆学力向上の取り組みから

①書く力の育成

本校の課題の一つである、「書く力」をつけるための取り組みとして、毎日の帯タイム（ぐんぐんタイム）で3分間視写を行っています。（①ていねいに速く②ことばを読みながら③人と競わない）をめ

あてに集中して書きます。また、週1回、放課後、硬筆にも取り組んでいます。ここでは、鉛筆の持ち方や姿勢、字形などに気をつけて書きま



「ぐんぐんタイム」での視写の様子

②言語力の育成

学習規律としての言語を定着させていく取り組みとして「言語目標」を設定して日々の授業を中心に全校体制で指導し、すべての子どもに確実に定着させていきたいと考えています。

③学力調査の結果から

下記の表は、今年の4月に実施した標準学力調査の結果です。学校全体として、国語の言語についての知識・理解・

技能、算数の数量や図形についての知識・理解に弱さが見られました。学級でも細かい分析を行い、学校全体で取り組むことと、学級で取り組むことの両面から全児童の学力の向上を図っていききたいと考えています。

平成24年度 標準学力調査結果より

	2年	3年	4年	5年
国語	1.06	1.33	0.89	1.05
算数	1.07	1.23	1.06	0.87

※目標値を「1」とした本校の平均正答率指数

◆豊かな心の育成

思いやりのある心豊かな子ども、自然の営みや地域の方々、家族に感謝し、また周囲を思いやることのできる心温かい子どもをめざして、人権教育・

道徳教育を核に、心の教育を推進しています。日々の教科学習はもちろん、全校道徳授業・人権教育参観日・親子講演会・体験学習などを通して、規範意識や人権課題に気づか

せ、行動化につなげていきます。

◆体力向上の取り組み

年間を通しての朝マラソンや一輪車、水泳や駅伝の特別練習、日々の体育授業の工夫と充実に取り組み、体力・運動能力の向上を図ります。そして、心も体も豊かな子どもを育成していきます。

◆上級生のリーダーシップの育成

毎日の集団登下校や学校行事など、すべての活動において5・6年生がお手本を示し、しっかりと下級生をリードしていきます。下級生はそんな上級生に追いつこうと、一生懸命頑張ります。

水曜日のお昼休みには、児童会主催の「全校遊び」を行い、遊びを通していろいろなことを学び伝承していきます。



みんなで一輪車!